

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項目	施策	事務事業名	担当課	主要 実施 対象	うち 多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題	29年度決 算額[千 円]	30年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和元年度に取組む改革・改善内容	元年度予 算額[千 円]
1	一般	8	1	321安全でゆとりある道路の整備	用地事務に要する経費	道路河川整備課			①事業用地取得後に係る参考図書の購入及び協議会負担金、研修費、旅費及び消耗品等の購入 ②事業用地取得事務に関する法改正等による基準の変更等に迅速に対応しなければならない。	60	66	6精査・検証	①事業用地取得事務に係る経常的な経費であるが、更に精査・検証が必要であるため。 ②事務の効率化を図りながら、事務経費の執行を行う。	68
2	一般	8	2	321安全でゆとりある道路の整備	道路橋梁事務に要する経費	道路河川整備課			①主要市道整備事業、一般市道整備事業、私道整備事業等を遂行するために必要な経費の支出。 ②道路網の整備、生活道路の整備が追いついていない。	922	906	6精査・検証	①道路整備を進めていくうえで、必要な経費であるため。 ②交付金の導入を積極的に図るため、関係機関との連携を強化し、道路事業を推進する。	906
3	一般	8	2	321安全でゆとりある道路の整備	主要市道整備事業	道路河川整備課	○	○	①安全で快適な道路網整備のため、主要市道における歩道の整備、危険個所の線形改良、排水整備、舗装改良を実施し、歩行者等の安全と交通の円滑化を図る。 ②市の主要な道路でも、歩道が無い箇所や狭い箇所が多く、交通量に見合った幅員や舗装構成になっていない。	81,541	85,501	7拡充	①市民意識調査の「道路の状況」満足度を下げたため、主要市道の整備は不可欠であるため。 ②国の交付金を活用し事業を進めるとともに、用地取得済み箇所については簡易舗装を行い、歩行者空間を確保する。事業債活用のため、市道修繕調査を実施し、修繕計画を策定する。	209,325
4	一般	8	2	321安全でゆとりある道路の整備	交差点改良事業	道路河川整備課	○	○	①安全で快適な道路網整備のため、主要な交差点の右折車線、歩道の整備、交差点形状の改良を行い交通渋滞の緩和、交差点付近の安全性を図る。 ②幅員が狭く見通しの悪い市道の交差点が多い。	3,370	15,919	7拡充	①交差点改良の要望が多く、市民の安全のため早期に交差点改良を行う必要があるため。 ②交差点の安全性を早期に向上させるため、工事予定箇所の早期発注を行う。	51,803
5	一般	8	2	321安全でゆとりある道路の整備	一般市道整備事業	道路河川整備課	○	○	①道路排水施設の整備、舗装新設、狭あい路線の拡幅を行い地域住民の利便性と生活環境の向上を図る。 ②道路排水施設の未整備箇所、舗装の不良箇所が多い。	14,307	4,752	7拡充	①市民意識調査の「道路の状況」満足度を下げたため、一般市道の整備は不可欠であるため。 ②事業効果の高い一般市道を選定し、効率的に工事を実施する。	53,252
6	一般	8	2	321安全でゆとりある道路の整備	私道整備事業	道路河川整備課	○	○	①未舗装私道の舗装及び舗装済みの私道の補修を推進し、地域住民の利便性と生活環境の向上を図る。 ②私道舗装整備要綱の見直しを図り、補修工事についても実施することになったことから、この制度を広く市民に周知すること。	4,843	627	6精査・検証	①公共性の高い私道もあることから、事業を進めていく必要があるため。 ②整備要綱の改正により、新規舗装だけでなく、補修工事についても対象になったことから、広報等により広く市民に周知していく。申請のあった私道整備工事を早期に発注し利用者の利便性を向上させる。	3,900
7	一般	8	2	133児童・生徒の健康と安全の確保	通学路整備事業	道路河川整備課	○	○	①児童・生徒が安全に通学できるよう、歩道のない通学路に歩道を整備し、登下校における安全性の向上を図る。 ②道路の拡幅など中長期的な時間を要する要望に対しては、まずは代替的な対策で対応せざるを得ない。	6,924	61,694	7拡充	①児童生徒の通学路の安全性を早期に向上させる必要があるため。 ②優先順位を見極めながら、用地取得を進めていく。	87,226
8	一般	8	3	223うるおいある河川・水路の整備	河川事務に要する経費	道路河川整備課			①河川・水路整備事業、準用河川整備事業、地域排水整備事業及び地域排水整備事業を遂行するために必要な旅費等の経費。 ②上記事業を執行するために必要な経費である。	524	507	6精査・検証	①治水事業を進めていく上で、必要な経費であるため。 ②事務の効率化を図りながら、事務経費の執行を行う。	515

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施設 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題	29年度決 算額[千 円]	30年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和元年度に取組む改革・改善内容	元年度予 算額[千 円]
9	一般	8	3	3	223うるおいある河川・水路の整備	雨水浸透貯留に要する経費	道路河川整備課			①浸透施設の整備及び、市民協働事業による過程で手軽に取り組める雨水浸透施設等の設置を行うことで、雨水管及び河川への負担を軽減させる。 ②協働事業により、市民に対し、いかにして雨水浸透施設の普及・啓発を進めるかが課題である。	6	35	6精査・検証	①浸透施設の設置効果は、短期間ではなく長期間において事業を継続していくことで、効果が発揮されるため。 ②浸透施設の普及・啓発を進め、より効果のある取り組みを行う。	40
10	一般	8	3	3	223うるおいある河川・水路の整備	河川・水路整備事業	道路河川整備課	○	○	①流末としての施設の確保及び流下能力の向上等を目的とした暫定改修や、上流域の流末としての機能確保のため50mm/hrの降雨に対応した改修を行う。 ②下流河川の整備の目的がついていないため、50mm/hrの降雨に対応した整備に取り組みしていない。	1,482	2,784	7拡充	①治水対策として有効な事業であることから、費用対効果を考慮した暫定改修については実施する必要があるため。 ②整備時期は未定であるが、整備の目的がついた段階で、整備方針等の検討を行う。	6,260
11	一般	8	3	3	223うるおいある河川・水路の整備	準用河川整備事業	道路河川整備課	○	○	①流下能力の向上と護岸の保護を目的とした暫定改修や、50mm/hrの降雨に対応した改修などの計画策定を行い、上下流の状況を考慮し段階的な河川の改修を行う。 ②河川改修は、下流から行うのが原則であるため、現時点で最も効果のある箇所を選定し、将来の整備に後戻りの無いよう実施する必要がある。	105,124	366,419	7拡充	①浸水被害により、市民の生命・財産に被害が及ぶ恐れがあるため、速やかに河川改修を行う必要があるため。 ②浸水被害の軽減のため、整備は現時点で可能な最も効果のある箇所の選定を行う。	427,294
12	一般	8	3	3	223うるおいある河川・水路の整備	地域排水整備事業	道路河川整備課	○	○	①浸水被害の直接的な原因が地域排水施設の能力不足や未整備であるものについて、下流への影響を配慮しつつ、河川・水路までの施設整備を行う。 ②浸水被害の軽減を図るため、道路冠水や浸水被害等のデータを基に整備可能且つ効果のある場所を選定しなければならない。	28,376	34,090	7拡充	①治水対策として有効な事業であることから、放流先の整備状況や費用対効果を考慮し、事業を進める必要があるため。 ②過年度から進めている浸水箇所の整備の進捗を図るとともに、最も効果のある場所における整備手法等の検討を行う。	160,549
13	一般	8	3	3	223うるおいある河川・水路の整備	雨水貯留池整備事業	道路河川整備課	○	○	①浸水被害を軽減するために必要な河川調節池の整備と流出抑制を目的とした調節池の整備を行う。整備にあたり、河川の整備計画との整合を図る。 ②浸水被害の軽減を図るため、道路冠水や浸水被害等のデータを基に整備可能且つ効果のある場所を選定しなければならない。	5,792	126,968	7拡充	①放流先の河川整備が進まない中で、浸水被害の軽減を図るため、雨水貯留池を整備することが最善の治水対策と考えられるため。 ②最も効果のある場所における貯留池整備に向け、土地の取得を行う。	53,684
14	一般	8	4	3	321安全でゆとりある道路の整備	街路事務に要する経費	道路河川整備課			①都市計画道路整備事業及び連続立体交差事業を遂行するために必要な経費の支出。 ②整備率が低く機能的な道路ネットワークの構築に至っていない。	1,843	2,053	6精査・検証	①街路整備を進めていくうえで、必要な経費であるため。 ②事務の効率化を図りながら、事業経費の執行を行う。	2,094
15	一般	8	4	3	321安全でゆとりある道路の整備	北千葉道路整備促進に要する経費	道路河川整備課			①北千葉道路の事業着手に向けた要望活動等に係る経費。 ②効果的な要望活動を行い、北千葉道路未着手箇所の早期事業化を目指す。	1,268	1,258	6精査・検証	①北千葉道路整備促進に必要な不可欠な経費であるため。 ②事業の進展に合わせて活動内容を精査し、引き続き国や県に対し効果的な要望活動を行っていく。	1,300
16	一般	8	4	3	321安全でゆとりある道路の整備	都市計画道路3・4・5号船橋我孫子バイパス線整備事業	道路河川整備課	○	○	①市、南北の交通の円滑化と周辺地域の利便性の向上を図るため、県道船橋我孫子線のバイパスとして県が事業主体となり事業を施行する。 ②境界が未確定の箇所があり、確定させる必要がある。	284	7,146	7拡充	①機能的な道路ネットワークの構築や利用者の利便性・安全性の向上を図るべく道路の完成を目指す必要があるため。 ②用地に関する情報について、千葉県と情報共有を図りながら、効率的に用地取得を進める。	4,643

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 実施 対象	うち 多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題	29年度決 算額[千 円]	30年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和元年度に取組む改革・改善内容	元年度予 算額[千 円]
17	一般	8	4	3	322利便性の高い公共交通体系の充実	新京成線連続立体交差事業	道路河川整備課	○	○	①本市の東西を走る新京成線を高架化し、踏切遮断による交通渋滞や市街地の分断等を解消する目的で、県が事業主体となり事業を施行する。 ②踏切による交通渋滞が多く、市街地が分断されている。	513,558	529,124	7拡充	①市内道路の渋滞解消に向け、早期完成が必要であるため。 ②全線高架化に向け、関係機関と調整を密にしながら事業を進める。	691,763
18	一般	8	4	3	321安全でゆとりある道路の整備	都市計画道路3・4・10号中沢北初富線整備事業(中沢)	道路河川整備課	○	○	①一級河川大柏川第二調節池整備事業の進捗に合わせ、都市計画道路整備を図る。 ②一級河川大柏川第二調節池整備事業との整備計画の整合を図ること。	1,197	27,562	6精査・検証	①一級河川大柏川第二調節池整備事業の進捗状況と合せ周辺の一体的な整備が必要である。 ②一級河川大柏川第二調節池整備事業の進捗に支障とならないように用地取得を進める。令和2年度、県と用地交換予定。	0
19	一般	8	4	3	321安全でゆとりある道路の整備	新鎌ヶ谷西側地区都市計画道路整備事業	道路河川整備課	○	○	①当該都市計画道路の整備により、新鎌ヶ谷地区内に発生する集中交通を円滑に処理する。 ②当該都市計画道路は東西にアクセスする道路が無いため、早期に事業を進めていく必要がある。	81,577	51,922	7拡充	①市内中心部の交通を円滑に処理し、道路利用者の安全性や利便性の向上を早急に図る必要があるため。 ②事業進捗のため、より多くの交付金を活用できるよう、関係機関との連携強化を図る。	155,234